

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部子育て支援課	■担当係	保育係
■評価事業名称	延長保育促進事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	400700 - 004	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	01 子育て環境の充実	
	■施策	01 子育てと仕事の両立の支援	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	子ども・子育て支援法		
■関連計画の名称	北上市子ども・子育て支援事業計画		
■事業の目的と概要	延長保育に対する需要に対応し、児童福祉の増進、保護者の利便を図る。公立保育所において保護者の不規則勤務、勤務残業等への対応のため18時から19時までの保育を実施する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	大通り保育園延長保育事業	保育に欠ける児童及びその保護者	延長保育利用児童数延べ3,500人	延長保育利用児童数延べ2,629人
03	横川目保育園延長保育事業	保育に欠ける児童及びその保護者	延長保育利用児童数延べ900人	延長保育利用児童数延べ243人
04	飯豊保育園延長保育事業	保育に欠ける児童及びその保護者	延長保育利用児童数延べ3,300人	延長保育利用児童数延べ2,299人
05	二子保育園延長保育事業	保育に欠ける児童及びその保護者	延長保育利用児童数延べ1,800人	延長保育利用児童数延べ1,767人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	18,774	18,972	19,246	522	
人件費	14,428	13,247	13,628	31,913	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	33,202	32,219	32,874	32,435	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	年間延長時間帯開所日数	1,171日	1,168日	1,176日	1,173日	延長保育実施園4園合計
03	年間延長時間帯利用児童数	7,114人	7,964人	8,798人	6,938人	実施園4園(大通り、飯豊、二子、横川目)の延利用児童数の計
04	開所日一日当たりコスト	28.3千円	27.5千円	28.0千円	27.7千円	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

二子保育園で延長保育の利用者が増加した一方で、大通り保育園、飯豊保育園、横川目保育園延長保育の利用者は減少した。

問題点・課題等

教育・保育のニーズが多様化する中、必要性に応じた適正な配置が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

教育・保育のニーズが多様化する中、必要性に応じた適正な配置が必要である。

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了